

令和2年度かいぼり結果概要報告【水元公園：散策池2】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和2年11月7日

【天候】 晴れ、曇り

【生物調査参加者数】

ボランティア19人・関係者約29人

2. 結果概要

【水質】 かいぼり後は、SSが減少するとともにDOが上昇しました。一方でCOD、T-Nがそれぞれ約1.5倍、約2倍上昇しました。ほかの項目については大きな変動はありませんでした。底泥の除去、天日干しにより池底への酸素供給や透視度の改善が図られたと考えられ、一方で本池は井水により復水したことから、池の水質は、井水の水質に起因していると考えられます。

【水生生物】 かいぼりでは、重要種のスジエビや、モツゴ、ドジョウなどが確認されています。特定外来生物に指定されているウシガエル、カダヤシも確認されており、今後も池の生物を見守っていく必要があります。

3. 調査結果

水質

項目	単位	令和2年度	
		かいぼり前	かいぼり後
調査日		R2.7.31	R3.2.25
天候		曇	晴
気温	°C	30.5	13
水深	m	0.67	0.35
水温	°C	26.5	9
透視度	cm	>50	>50
ORP(酸化還元電位)	mV	+350	+384
pH(水素イオン指数)		7.8	7.6
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	8.1	12
BOD(生物化学的酸素消費量)	mg/L	2.6	2.2
T-N(全窒素)	mg/L	0.51	1.22
T-P(全リン)	mg/L	0.033	0.032
DO(溶存酸素)	mg/L	6.5	11.6
SS(浮遊物質)	mg/L	7	1

捕獲した生物と個体数

和名	令和2年度		重要種		外来種 ※3
	かいぼり前	かいぼり時	環境省RL (2020)※1	東京都RDB (2013) ※2 区部	
	R2.7.20	R2.11.7			
ヒメタニシ		34			
エビノコバン		52			
カワリヌマエビ属	1	4766			○
テナガエビ	1	1		留意種	
スジエビ	1	9251		留意種	
チュウゴクスジエビ		615			○
アメリカザリガニ	3	51			○
コイ		5			○
ギンブナ		574			
タイリクバラタナゴ		6			○
モツゴ	4	4551			
タモロコ		93			○
ツチフキ		395			○
ドジョウ		5	NT		
カダヤシ	7	457			○
ブルーギル	1	149			○
カムルチー		119			○
ヨシノボリ属		421			
トウヨシノボリ類	1				
アズマヒキガエル		1		NT	
ウシガエル	14	38			○
クサガメ	1			DD	○
ヌマガメ科交雑個体		1			○
ニホンスッポン		1	DD	CR+EN	

かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕獲

※1 環境省レッドリスト2020 ※2 レッドデータブック東京2013

※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと

